

テーマ2「しぜん」 2024年11月～2025年1月

本園舎に戻り、子どもたちが興味を持っている自然について、本園舎と臨時園舎の周囲に生息する自然の違いを観察する機会を提供したいと考え、このテーマを選びました。近隣の公園での観察を通じて、自然物の違いを感じ、自然環境に対する理解を深めていきたいと思えます。また、発表会や調理保育の行事と関連した自然物についての探究活動を行うことで、活動を多方面からとらえたいと考えました。

11月：自然のものを使って、どんな作品ができるかな？

仮園舎周辺公園で自然物を集め、形や色の違いに気づいたり、集めた自然物を自由に使って、空き箱の中にアート作品を作りました。自然物の収集では、色（「だんだん黄色くなってきれい」「しましまになっている」「緑もあった」）、形（「ハートのかたちになってる」「手のかたちしてる（もみじ）」「こんなにおおきいもあった」）、質感（「うらとおもてと色が違う」「かさかさしてる」「ざらざらしてる」）、落葉以外のもの（「かいがらみつけた」「丸い石みつけた」）など、様々な視点をもって観察していました。



12月：園庭や公園で見つけた自然物で、どんな楽器ができるかな？

本園舎周辺公園で自然物を集め、仮園舎との違いは何か考えました。また、発表会で行った合奏を振り返り、集めた自然物を使って楽器作りにチャレンジしました。

楽器作りでは、小さい石を入れたものと大きい石を入れたもので「こっちはサラサラ～ってすなみtainな音がするよ」と、音の違いに気づいていました。年少さんから年長さんまで、みんな集中して楽器作りを楽しんでいました。



1月：玉ねぎ、にんじん、じゃがいもをどう使えば、カレーは美味しくなるのかな？



調理保育に向けて、「野菜」の種類や形、カレーに入れる野菜とそうでない野菜の違いについて考えました。実際に切って、試食してみることで、どの形がおいしいか、形で味が変わるかを試してみました。野菜に触れ、実際に手で割ってにおいを確かめたり、皮をむいて皮と中身の違いを発見していました。探究活動により、ただ切る体験だけでなく、「おいしく切ろう」という意思や思考をもって主体的に取り組む姿がみられました。



自然物の収集では、自分で気づいたり発見したことを興奮と驚きをもって報告し、それぞれ拾ってきた落ち葉からイメージをもって、迷うことなく夢中になってアート作品や楽器作りに取り組んでいたのが印象的でした。仮園舎と本園舎の公園では自然物の種類が違うことに気づき、探究活動を行うことで、自然に注目し、思ったこと、感じたことを表現しあうことの楽しさを知ることができました。

野菜について、実際に野菜に触ったり、切ったりする実体験により、硬さやにおいにも気づいていました。切り方を変えたさつまいもを調理して食べ比べ、「うすいとやっぱり味が薄い」「うすぎりと厚切りは味が変わるね」「厚切りがあまくておいしい」「厚切りはおいしさがある」と意見を出し合った結果、『いちよう切りの厚切り』に、切り方が決まりました。感じたことを言葉で表現し、意見を出し合って自分たちで決める達成感を感じることができました。

次回のテーマは「春の準備と成長」です。